

## ○玉名市地球温暖化対策実行計画 令和3年度進捗状況

### 1 温室効果ガス総排出量の比較

本市の事務事業における2021年度(令和3年度)の温室効果ガス総排出量は、基準年度となる2013年度(平成25年度)と比較して、50.3%の減となりました。

※基準年度と直近3か年の推移

年度	2013	—	2019	2020	2021
排出量(t-CO <sub>2</sub> )	14,003	—	8,053	7,971	6,962
目標排出量(t-CO <sub>2</sub> )	-	—	10,207	9,811	9,285
増減率(2013年度比)	-	—	-42.5%	-43.1%	-50.3%

### 2 電気・その他エネルギー別使用量の比較

電気やその他のエネルギーの使用状況は、以下のとおりです。

※基準年度との比較

項目(単位)	2013年度	2021年度	増減量	増減率
電気使用量(KWh)	18,711,939	16,744,577	△ 1,967,362	-10.5%
ガソリン使用量(ℓ)	60,364	55,254	△ 5,110	-8.5%
灯油使用量(ℓ)	267,459	157,956	△ 109,503	-40.9%
軽油使用量(ℓ)	9,275	3,669	△ 5,606	-60.4%
A重油使用量(ℓ)	425,201	321,183	△ 104,018	-24.5%
LPガス使用量(m <sup>3</sup> )	30,934	12,273	△ 18,661	-60.3%

### 3 温室効果ガス総排出量減の主な理由

・温室効果ガス排出量は全体としては大きく減少していますが、主な要因は排出量の大部分を占める電気使用において温室効果ガス排出係数が大きく低下したことにより排出量が減少したものです。実際の活動量については、新型コロナウイルス感染拡大防止のための施設閉館措置が緩和され、開館日が増えたことや換気しながらの空調使用などにより、電気使用量は前年度より増えています。

### 4 今後の課題等

・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休館等含めた施設利用方法や換気しながらの空調使用など、各施設の利用状況は大きく変容しており、今後も同様の状況が続く場合は、電気使用量削減のため空調等使用方法の見直しや設備機器の更新(高効率機器への変更等)が必要になると考えられます。

また、公用車について、買い替え等の際にはEV車(電気自動車)を初めとするエコカーの導入の積極的な検討が求められます。